

—新聞の実態と改革への期待—



日本の新聞は、圧倒的な発行部数の多さ、TV局の系列化、世界に稀な記者クラブによる情報独占など、先進国の新聞業界には見られない特徴を持っています。そして、ネットが普及した今日でも、巨大な情報伝達力で、政治に大きな影響を与え、時に無用の混乱を起こし、日本人の社会感まで変えてしまいます。今日、政治家も企業経営者も大学関係者も真っ向から新聞社の「無責任の構造」を指摘することは困難になりました。その新聞社の営利企業としての限界と実態を地質専門家の三田さんが詳細に調査し、人類の情報の意味を考察し、新聞改革を期待する内容です。

講師 三田和朗 (株)エル防災技術 技術士 (地質)
著作「技術士が調査した新聞の実態と改革への期待」

とき 6月16日 (木) 13:30~15:30

ところ 畑の郷 水土利館 (南九州市穎娃町牧之内)

参加料 お茶代 300円
CPD 認定申請者 1,000円 (お茶代を含む)

申込み 畑の郷 水土利館 (大園)
電話 : 0993-36-3911 FAX : 0993-36-3912
e-mail : midorikan@mopera.net

* 農業農村工学会技術者継続教育機構 CPD プログラムに申請中